

中国委員会 ミッション報告と石原邦夫委員長インタビュー

中国ミッション(2009年8月30日~9月4日/北京、昆明、無錫、上海)

環境分野における日中の相互協力について
建設的な意見を交わす



(写真上) 中華全国工商業連合会との会議にて
(右は孫曉華副主席)(北京市)
(写真左) 張曉強国家發展改革委員会副主任
(右から5番目)との面談(北京市)

中国委員会(石原邦夫委員長)は、「環境分野における日中の相互協力」を基本テーマとして、2009年8月30日~9月4日の日程で、北京、昆明、無錫、上海にミッションを派遣した。環境分野の中でも、今回は特に代替エネルギーと水資源問題に焦点を絞った。石原邦夫委員長を団長に、団員は20名であった。

国家發展改革委員会、中国社会科学院、中華全国工商業連合会等

との会合では、中国の環境問題、環境ビジネスの現状と日本企業への期待などのほか、中国の經濟發展狀況と趨勢^{すうせい}について説明をいただいた。地方都市の訪問では、水資源問題に関する視察や、企業・工場見学などを行い、環境への取り組みについての意見交換を行った。

また、訪中ミッション日程が日本の総選挙と重なったこともあり、中国側から日本の政権交代について

の見解を求める質問が寄せられ、新政権における日中関係について高い関心が示された。

全日程を通じて、環境問題における日中相互の協力についての認識がより一層深まり、有意義なミッションとなった。



中日(無錫)新エネルギーと環境保護協力の討論会(江蘇省無錫市)

2009年度中国ミッション日程
(2009年8月30日~9月4日)

8月30日(日)	〈北京〉
成田発 午前→北京着 午後	
【着後、ホテルへ移動】	
○中国日本商會と經濟同友会の懇談会	
8月31日(月)	〈北京〉
【北京市内で各団体と交流】	
○中華全国工商業連合会との会議	
○張曉強国家發展改革委員会副主任との面談	
○在中国日本大使館(梅田邦夫首席公使等)フリーフィンク	
○中国社会科学院との会議	
○国家發展改革委員会との夕食会(釣魚台)	
9月1日(火)	〈昆明〉
北京発(中国南方航空CZ3901)9:10→昆明着12:35	
○雲南民族村視察	
9月2日(水)	〈昆明〉
○滇池(てんち)生態湿地視察	
○昆明第三污水处理施設視察	
○王道興昆明市副市長主催昼食会(昆明飯店)	
昆明発(上海航空FM9452)16:05→上海着19:05	
9月3日(木)	〈無錫・上海〉
無錫へ(上海からバスで往復)	
蠡湖(れいこ)および展示館視察	
○中日(無錫)新エネルギーと環境保護協力の討論会(賓湖飯店)	
○無錫新区管理委員会 訪問	
○無錫宝南(風力發電ユニット製造)訪問	
○上海日本商會クラブと經濟同友会の懇談会(解団) 来賓:在上海日本國総領事館(石井哲也首席領事等)	
9月4日(金)	
ホテル発	
上海虹橋発12:50~13:50→羽田着16:40~17:40	

同じ東アジアの一員として 共通の問題意識を持つ重要性

中国ミッション団長 石原邦夫 (東京海上日動火災保険 取締役会長)

中国委員会では、環境分野が日中共通の課題として、協力関係の構築を図り得るテーマであると考えに至りました。両国は、同じ空・同じ海を共有する「一衣帯水」の隣国同士です。環境問題を通じて、日中の交流・友好関係も促進できます。砂漠化などの顕在化している難題があり、今回は、21世紀の極めて大きな問題である「水資源問題」「代替エネルギー」に焦点を絞りました。

無錫に太湖という湖があります。面積がおよそ2,300平方kmという中国五大湖の一つです。日本の琵琶湖の面積が約670平方kmですから、非常に大きな湖であることがわかります。その太湖の一部では、水質改善を目的とした魚

の養殖事業の中止や、水辺の農家に移転を促し、湿地帯を復元するなどの取り組みが計画的に進められていました。その一方で、湖があまりにも広大であるため、複数の地方政府にまたがる問題として、連携の重要性が指摘されている現状も見ることができました。

急速な経済成長と同時に生まれた深刻な環境問題に、日本の技術力がどこまで貢献できるのか。意見交換を通じて、中国の皆さんが日本の環境・省エネルギー技術に大きな期待を寄せていることもひしひしと感じられました。かつてないほどのレベルで、省エネ・環境保護を重視し、積極的に取り組む姿勢が非常に印象的でした。

もちろん中国においても、環境問題は経済成長の阻害要因と考える人々もいます。しかし、経済成長のスピードは速いが、破壊された自然環境の回復には時間がかかることを考えなければなりません。日本として、例えば、総合的な対策を一つのシステムとして構築するアイデアの提供や、経済成長と環境保護の両立に向けて、



滇池(てんち)生態湿地の視察(雲南省昆明市)

中央政府・地方政府・各企業が一体となって取り組んでいけるグランドデザインを描くなどの協力ができないかと思いました。

いずれにしても、隣国同士として、共通の問題意識を持ち、解決に向けて協力し合う必要性を改めて認識しました。現地に赴き、実際に目で見て、言葉を交わすからこそ、理解できることもあります。今後も定点観測や意見交換を続け、より一層の協力関係を築いていくことが非常に重要だと感じました。



李揚社会科学院副院長(左から3番目)との面談(北京市)

団員名簿(敬称略)

団長/中国委員会委員長

石原 邦夫(東京海上日動火災保険 取締役会長)

副団長/中国委員会副委員長

皇 芳之(三菱レイヨン 取締役会長)

関澤 秀哲(新日本製鐵 常任顧問)

船津 康次(トランスコスモス 取締役会長兼CEO)

古川 令治(マーチャント・バンカーズ 取締役会長兼最高経営責任者CEO)

団員

飯村 慎一(光陽電気工事 取締役社長)

大久保 和孝(新日本有限責任監査法人 パートナー)

大多和 巖(農林中金総合研究所 顧問)

大八木 成男(帝人 取締役社長)

岡本 和久(I-Oウェルズ・アドバイザーズ 取締役社長)

門脇 英晴(日本総合研究所 特別顧問)

戸矢 博道(全日本空輸 常勤顧問)

細野 克彦(日本航空 取締役副社長)※北京日程(8/30、31)参加

平尾 光司(信金中央金庫総合研究所 所長)

廣瀬 駒雄(ディレクトフォーシニアフェロー)

古橋 和好(ムラヤマ 専務取締役)

武者 陵司(武者リサーチ 代表)

守田 道明(上田八木短資 取締役社長)

米田 隆(西村あさひ法律事務所 代表パートナー)

上田 新次郎(日立プラントテクノロジー 研究開発本部経営戦略本部 執行役専務)